平成26年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月６日

上 場 会 社 名	日本特殊塗料株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	4619	URL	http://www.nttoryo.co.jp
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	酒井 万喜夫
問合せ先責任者	（役職名） 常務取締役 業務本部長	（氏名）	田谷 純　　(TEL) 03-3913-6134
四半期報告書提出予定日	平成25年11月８日	配当支払開始予定日	平成25年11月29日

四半期決算補足説明資料作成の有無　　：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成26年３月期第２四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第２四半期	18,038	10.4	337	8.3	1,365	46.6	1,193	60.6
25年３月期第２四半期	16,340	13.1	311	345.4	931	189.0	743	111.4

（注）包括利益　26年３月期第２四半期　2,947百万円（　325.2%）　25年３月期第２四半期　693百万円（　—%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第２四半期	53.98	—
25年３月期第２四半期	33.62	—

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第２四半期	42,358	24,094	55.4
25年３月期	38,762	21,268	53.4

（参考）自己資本　26年３月期第２四半期　23,478百万円　　25年３月期　20,688百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	—	4.00	—	6.00	10.00
26年３月期	—	4.00			
26年３月期(予想)			—	6.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	12.9	700	51.6	2,350	30.2	1,750	13.4	79.14

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　―社（社名）　　、除外　　―社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：有

（注）詳細は、添付資料４ページ「（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧下さい。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：有

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（注）詳細は、添付資料４ページ「（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧下さい。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期２Ｑ	23,611,200株	25年３月期	23,611,200株
②　期末自己株式数	26年３月期２Ｑ	1,499,593株	25年３月期	1,499,196株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期２Ｑ	22,111,817株	25年３月期２Ｑ	22,108,776株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報　（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 ……11
(継続企業の前提に関する注記) ……11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) ……11
(セグメント情報等) ……11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政権交代による経済対策と金融政策による円高是正や株価が安定的に推移したことから、輸出企業を中心に企業収益が改善するなど、景気回復の兆しが見られました。一方、新興国での経済成長鈍化、原油高の影響による原材料価格の高騰、消費増税など、依然先行き不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループでは、新製品の開発や新規顧客の開拓など販売活動を強化するとともに原価改善、生産性の向上など収益改善に取り組んでまいりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の業績については、関連事業での需要の取り込みと前連結会計年度末より連結の範囲に含めた在外子会社の売上高の増加により、売上高は180億３千８百万円（前年同期比10.4%増）となりました。

損益面につきましては、原材料価格の高止りの影響があったものの増収の効果により営業利益は３億３千７百万円（前年同期比8.3%増）、経常利益は海外関係会社の業績拡大や円高是正による持分法による投資利益の増加により13億６千５百万円（前年同期比46.6%増）、四半期純利益は11億９千３百万円（前年同期比60.6%増）となりました。

セグメント別の業績の状況は次のとおりであります。

① 塗料関連事業

当セグメントの業績につきましては、顧客ニーズに合致した新製品の開発による新規顧客の開拓と省エネ対策など環境対応型塗料を主力とした売上拡販を行うとともに原価改善、生産性の向上に取り組みました。

品種別売上高につきましては、建築・構築物用塗料のうち、床用塗料は前年同期比9.5%、防水用塗料は7.7%とそれぞれ堅調に増加しましたが、屋根材は前年同期比△6.5%と減少しました。航空機用塗料は、塗り替え需要増もあり前年同期比17.0%増加しました。また、工事関連売上高では消費増税駆け込み需要など集合住宅大規模改修工事の受注拡大により前年同期比62.4%と大きく増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は79億８百万円（前年同期比20.4%増）、セグメント利益は３億１千７百万円（前年同期比60.0%増）となりました。

② 自動車製品関連事業

当セグメントの業績につきましては、国内自動車生産は昨年９月にエコカー補助金が終了した影響から回復し、売上高は増加しました。一方、利益面につきましては徹底したコスト削減に取り組んだものの円安進行等による原材料の高止まりによる損益悪化など厳しい状況が続きました。

品種別売上高につきましては、制振材は在外子会社の売上加算もあり前年同期比7.4%増加しました。防錆塗料は前年同期比2.5%、吸・遮音材は前年同期比2.2%とそれぞれ増加しました。また、材料輸出などのその他売上につきましても前年同期比3.7%増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は101億２千３百万円（前年同期比3.7%増）、セグメント利益は１千７百万円（前年同期比84.3%減）となりました。

③ その他

保険代理業の売上高は６百万円（前年同期比2.2%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（総資産）

当第２四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ35億９千６百万円増加し、423億５千８百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加４億３千５百万円、有形固定資産の増加６億９千７百万円、株式市況の回復等による投資有価証券の増加28億４千４百万円によるものです。

（負債）

負債合計は、前連結会計年度末に比べ７億６千９百万円増加し、182億６千４百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加２億９千万円、流動負債その他の増加４億５千万円、長期借入金の減少６億３百万円、固定負債その他の増加４億１千万円によるものです。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ28億２千６百万円増加し、240億９千４百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加10億６千万円、株式市況の回復によるその他有価証券評価差額金の増加９億９千５百万円、為替換算調整勘定の増加７億３千４百万円によるものです。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ４億９千６百万円減少し、33億８百万円となりました。

営業活動による資金は、10億５千４百万円（前年同期比４億２千８百万円の増加）となりました。主な要因は減価償却費６億４千万円、売上債権の増加による減少４億７百万円、利息及び配当金の受取額３億９百万円によるものです。

投資活動による資金は、９億６千３百万円の支出（前年同期比２億５千１百万円の増加）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出９億２千６百万円によるものです。

財務活動による資金は、６億２千８百万円の支出（前年同期比１億８千９百万円の減少）となりました。これは主に短期借入金の純増加額２億７千２百万円、長期借入金の返済による支出７億６千７百万円、配当金の支払１億３千２百万円によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、堅調な内需の支えと海外経済の持ち直し等を背景に、国内景気は穏やかな回復を持続すると予想されますが、一方で新興国での経済成長鈍化の懸念や円安・原油高の影響による原材料価格の高騰、消費増税など、依然先行き不透明な状況が予想されます。

当社グループの事業を取り巻く環境は、自動車生産、民間設備投資の新規・更新需要の増加が期待されますが、円安に伴う主要原材料価格の上昇圧力などが予想されます。

このような状況のもと、当社グループでは、顧客ニーズに合った新製品の開発、生産性の向上、業務の効率化を推進し、収益の改善に努めてまいります。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更等)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、有形固定資産（平成10年４月１日以降に取得した建物(附属設備を除く)、工具、器具及び備品のうち量産金型、及びリース資産を除く）の減価償却方法について、従来は定率法によっておりましたが、第１四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

当社グループは、近年の積極的な海外投資等の事業展開を踏まえて、前連結会計年度末に新たな「中期経営計画」を策定し、その過程において固定資産の償却方法についての見直し作業を実施致しました。

この結果、塗料関連事業及び自動車製品関連事業のいずれにおきましても、既存の国内生産設備は、今後稼働状況が安定していくことが見込まれ、また、新たな「中期経営計画」における国内生産設備に関する投資は、汎用性が高く長期に亘り平均的かつ安定的に稼働する設備に限定されていることから、定額法による減価償却の方法を採用することが、固定資産の費消状況の経済的実態を反映できると判断するに至りました。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は65,299千円それぞれ増加しています。なお、セグメント情報に与える影響については、当該箇所に記載しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,023,845	3,489,097
受取手形及び売掛金	10,025,310	10,460,944
商品及び製品	1,052,261	1,118,419
仕掛品	259,908	299,656
原材料及び貯蔵品	894,140	923,641
繰延税金資産	347,654	347,919
その他	398,832	213,029
貸倒引当金	△2,595	△4,132
流動資産合計	16,999,357	16,848,575
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,395,672	3,556,378
機械装置及び運搬具（純額）	2,320,575	2,799,262
土地	3,373,793	3,373,793
建設仮勘定	561,236	419,030
その他（純額）	1,014,462	1,214,825
有形固定資産合計	10,665,741	11,363,291
無形固定資産	203,372	232,856
投資その他の資産		
投資有価証券	9,707,738	12,551,887
繰延税金資産	149,748	35,956
その他	1,040,969	1,330,437
貸倒引当金	△4,154	△4,164
投資その他の資産合計	10,894,302	13,914,117
固定資産合計	21,763,415	25,510,264
資産合計	38,762,773	42,358,840

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成25年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,541,617	7,831,884
短期借入金	1,654,971	1,785,373
リース債務	13,744	21,866
未払法人税等	140,505	198,125
役員賞与引当金	32,210	14,470
その他	2,487,136	2,937,240
流動負債合計	11,870,185	12,788,960
固定負債		
長期借入金	2,716,256	2,112,382
リース債務	54,197	83,332
退職給付引当金	2,792,497	2,807,737
その他	61,372	471,841
固定負債合計	5,624,323	5,475,294
負債合計	17,494,508	18,264,255
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,753,085	4,753,085
資本剰余金	4,362,942	4,362,942
利益剰余金	10,844,253	11,904,603
自己株式	△495,938	△496,099
株主資本合計	19,464,342	20,524,531
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,829,523	2,824,812
為替換算調整勘定	△605,845	128,824
その他の包括利益累計額合計	1,223,678	2,953,636
少数株主持分	580,244	616,418
純資産合計	21,268,264	24,094,585
負債純資産合計	38,762,773	42,358,840

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
売上高	16,340,266	18,038,198
売上原価	13,137,002	14,597,527
売上総利益	3,203,264	3,440,671
販売費及び一般管理費	2,891,497	3,103,045
営業利益	311,766	337,625
営業外収益		
受取配当金	39,685	49,407
持分法による投資利益	627,890	925,914
その他	54,150	92,083
営業外収益合計	721,726	1,067,406
営業外費用		
支払利息	40,347	33,626
為替差損	44,047	－
その他	17,263	5,426
営業外費用合計	101,658	39,052
経常利益	931,834	1,365,979
特別利益		
固定資産売却益	－	2,469
関係会社清算益	－	1,467
受取保険金	3,640	1,199
特別利益合計	3,640	5,136
特別損失		
固定資産処分損	19,087	16,008
投資有価証券売却損	11	－
投資有価証券評価損	80,621	－
関係会社出資金売却損	2,181	－
会員権売却損	500	－
特別損失合計	102,402	16,008
税金等調整前四半期純利益	833,073	1,355,107
法人税等	69,517	149,559
少数株主損益調整前四半期純利益	763,555	1,205,547
少数株主利益	20,344	12,034
四半期純利益	743,211	1,193,513

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	763,555	1,205,547
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△159,168	984,668
為替換算調整勘定	－	122,133
持分法適用会社に対する持分相当額	88,966	635,529
その他の包括利益合計	△70,201	1,742,331
四半期包括利益	693,354	2,947,879
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	673,009	2,923,471
少数株主に係る四半期包括利益	20,344	24,407

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	833,073	1,355,107
減価償却費	731,818	640,346
退職給付引当金の増減額（△は減少）	15,195	15,239
受取利息及び受取配当金	△48,754	△51,328
支払利息	40,347	33,626
持分法による投資損益（△は益）	△627,890	△925,914
固定資産売却損益（△は益）	－	△2,469
固定資産処分損益（△は益）	19,087	16,085
関係会社出資金売却損益（△は益）	2,181	－
受取保険金	△3,640	△1,199
売上債権の増減額（△は増加）	231,518	△407,143
たな卸資産の増減額（△は増加）	△12,359	△124,059
仕入債務の増減額（△は減少）	△666,123	276,549
その他	62,946	49,468
小計	577,399	874,309
利息及び配当金の受取額	419,495	309,458
利息の支払額	△49,838	△27,624
保険金の受取額	6,141	－
法人税等の支払額	△327,171	△167,583
法人税等の還付額	－	65,544
営業活動によるキャッシュ・フロー	626,026	1,054,103
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△70,188	△51,888
定期預金の払戻による収入	34,934	90,588
有形固定資産の取得による支出	△488,819	△926,753
有形固定資産の売却による収入	51,548	20,531
投資有価証券の取得による支出	△5,952	△6,174
投資有価証券の売却による収入	125	－
関係会社出資金の売却による収入	70,074	－
関係会社株式の取得による支出	△235,082	△40,188
関係会社の清算による収入	－	1,467
貸付けによる支出	△73,980	△5,000
貸付金の回収による収入	14,920	－
その他	△9,332	△45,850
投資活動によるキャッシュ・フロー	△711,751	△963,268

(単位：千円)

	前第２四半期連結累計期間 (自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△74,167	272,462
長期借入れによる収入	2,270,600	－
長期借入金の返済による支出	△2,878,018	△767,546
自己株式の取得による支出	△18	△15
自己株式の売却による収入	5,095	－
配当金の支払額	△132,162	△132,197
少数株主への配当金の支払額	△7,250	－
その他	△2,519	△1,616
財務活動によるキャッシュ・フロー	△818,441	△628,913
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,923	42,029
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△914,090	△496,048
現金及び現金同等物の期首残高	4,570,435	3,804,361
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,656,345	3,308,312

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第２四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第２四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
	塗料関連	自動車製品関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,568,113	9,765,212	16,333,326	6,940	16,340,266	―	16,340,266
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,800	―	1,800	―	1,800	△1,800	―
計	6,569,913	9,765,212	16,335,126	6,940	16,342,066	△1,800	16,340,266
セグメント利益	198,421	110,285	308,706	3,059	311,766	―	311,766

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業であります。
２　調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

この変更によるセグメント利益に与える影響は軽微であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第２四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
	塗料関連	自動車製品関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,908,230	10,123,181	18,031,412	6,786	18,038,198	―	18,038,198
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,800	―	1,800	―	1,800	△1,800	―
計	7,910,030	10,123,181	18,033,212	6,786	18,039,998	△1,800	18,038,198
セグメント利益	317,389	17,369	334,758	2,867	337,625	―	337,625

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業であります。
２　調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更等に記載のとおり、当社グループは、有形固定資産（平成10年４月１日以降に取得した建物(附属設備を除く)、工具、器具及び備品のうち量産金型、及びリース資産を除く）の減価償却方法について、従来は定率法によっておりましたが、第１四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法に比べて、当第２四半期連結累計期間の「塗料関連」のセグメント利益が10,932千円増加し、「自動車製品関連」のセグメント利益が54,366千円増加しております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。